

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 伊東西伊豆線 西伊豆町大沢里2

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	平成27年度～平成30年度
計画概要：	道路拡幅工L=100m、幅員7.00m

2 目的・必要性

<p>伊東西伊豆線は、西伊豆町方面から伊豆市を経て、伊東市に至る伊豆半島を横断する路線であり、地域の生活及び災害等緊急時の避難路として、西伊豆町にとって重要な路線となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	孤立集落へのアクセス道路	1A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 特別立法（半島振興法）指定道路	2A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了	1A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	対象地権者の同意有	3A
計			7A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 伊東川奈八幡野線 伊東市富戸

1 事業概要

全体事業費：	30百万円
計画期間：	平成27年度～平成28年度
計画概要：	道路拡幅工L=100m、幅員7.50m

2 目的・必要性

伊東川奈八幡野線は、伊東市街地から伊東市八幡野に至る伊豆東海岸を南北に連携する路線であり、地域の生活及び観光道路として、又休日の国道135号渋滞時の迂回路としての機能も併せ持つ重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量1000台/日以上	1A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時制改善に資する道路	2A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	3A
計			9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 伊東西伊豆線 伊豆市湯ヶ島

1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成27年度～平成30年度
計画概要：	道路拡幅工L=120m、幅員7.00m

2 目的・必要性

<p>伊東西伊豆線は、西伊豆町方面から伊豆市を経て、伊東市に至る伊豆半島を横断する路線であり、地域の生活及び災害等緊急時の避難路として、伊豆市にとって重要な路線となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両及び歩行者の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	孤立集落へのアクセス道路	1A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 特別立法（半島振興法）指定道路	2A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済	1S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	2A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権利者の同意有、地元住民と協働で事業計画	4A
計			1S9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 熱海大仁線 伊豆市大野

1 事業概要

全体事業費：	20百万円
計画期間：	平成27年度～平成27年度
計画概要：	道路拡幅工L=100m、幅員7.00m

2 目的・必要性

<p>熱海大仁線は、熱海市方面から伊豆スカイラインを経て伊豆の国市大仁に至る路線であり、地域の生活及び観光道路として、伊豆市にとって重要な道路となっている。当該区間は、前後改良済にて、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量1000台/日以上	1A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 特別立法（半島振興法）指定道路	2A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地権者の同意有、地元住民からの要望有	3A
計			9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 吉田大東線 菊川市中内田2

1 事業概要

全体事業費：	25百万円
計画期間：	平成27年度～平成28年度
計画概要：	道路拡幅工L=100m、幅員10.0m

2 目的・必要性

<p>吉田大東線は、吉田町から牧之原台地及び菊川市街地を経て、掛川市南部に至る路線であり、地域の生活及び空港周辺のアクセス道路の一部としての機能も併せ持つ重要な道路となっている。当該区間は、前後改良済にて、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行及び自転車、歩行者の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定有 自動車交通量1000台/日以上	2A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合	1A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	3A
計			9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 掛川山梨線 袋井市宇刈

1 事業概要

全体事業費：	75百万円
計画期間：	平成27年度～平成29年度
計画概要：	道路拡幅工L=260m、幅員10.75m

2 目的・必要性

<p>掛川山梨線は、掛川市富部から袋井市山梨に至る路線であり、地域の生活及び経済活動に重要な道路となっている。当該区間は、前後改良済にて、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行及び自転車、歩行者の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定有 自動車交通量1000台/日以上	2A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	バス路線の定時性改善に資する道路	1A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地権者の同意有、地元住民からの要望有	3A
計			9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (国) 135号 (東伊豆町大川)

1 事業概要

全体事業費：	10,000 (千円)
計画期間：	H27
計画概要：	交差点改良 N=1 式

2 目的・必要性

当該箇所は、平成 27 年 1 月 19 日に死亡事故が発生している。
そのため、同年 1 月 28 日に警察や道路管理者等の関係機関と交通診断を実施した結果、交差点改良を行うことで、交通の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	交通死傷事故、歩行車通行空間	3A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	交通診断	1S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2A
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	用地補償、地元の熟度	3A
計			1 S8A

※ A 評価 (通常評価) : 効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価) : 既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (国) 414号 (河津町梨本)

1 事業概要

全体事業費：	12,000 (千円)
計画期間：	H27
計画概要：	路肩拡幅 L=60m

2 目的・必要性

当該箇所は、国道414号と林道の交差部分であるが、交差角が浅く見通しが悪い
ため、危険な状況である。
そのため、路肩拡幅を行うことで、交通の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高い みちづくり		
	安全な生活を実現するみ ちづくり	交通死傷事故、歩行車通行空間	3A
	多様な交流や経済活動を 支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援 するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環 境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2A
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	用地補償、地元の熟度	3A
計			8A

※ A評価 (通常評価) : 効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価 (優先度評価) : 既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (主) 熱海函南線 (函南町丹那)

1 事業概要

全体事業費：	10,000 (千円)
計画期間：	H27
計画概要：	減速マークカラー舗装 L=170m

2 目的・必要性

<p>当該箇所は、平成 26 年 11 月 27 日に死亡事故が発生している。</p> <p>そのため、同年 12 月 4 日に警察や道路管理者等の関係機関と交通診断を実施した結果、減速カラーマーク舗装を整備することとし、運転手へ速度抑制の注意喚起を行うことで、歩行者等の安全確保を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路、交通死傷事故、歩行車通行空間	5A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	交通診断	1S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	用地補償、地元の熟度	3A
計			1 S11A

※ A 評価 (通常評価) : 効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価) : 既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は〇による)

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (主)藤枝天竜線 (川根本町家山)

1 事業概要

全体事業費：	17,000 (千円)
計画期間：	H27
計画概要：	歩道空間整備 L=95m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（川根小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩行空間整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通死傷事故	4A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			10A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (国) 414号 (河津町湯ヶ野)

1 事業概要

全体事業費：	25,000 (千円)
計画期間：	H27～H29
計画概要：	歩道整備 L=50m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（西小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩道整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
		安全な生活を実現するみちづくり	通学路、交通死傷事故、歩行者通行空間	6A
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		通学路の合同点検	1S
緊急性	速やかな事業着手の必要性			
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		用地補償、地元の熟度	3A
計				1S12A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (一) 沼津小山線（御殿場市湯沢）

1 事業概要

全体事業費：	40,000（千円）
計画期間：	H27～H28
計画概要：	歩道整備 L=730m

2 目的・必要性

当該箇所は、学校施設（御殿場南小）や御殿場駅等が立地していることから、御殿場市では、バリアフリー基本構想を策定している。

そのため、歩道のバリアフリー化を促進することにより、歩行者の安全に配慮した道路整備を実施するものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路、交通死傷事故、歩行者通行空間	6A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	バリアフリー	1A
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			13A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (一) 石川一本松線（沼津市石川）

1 事業概要

全体事業費：	40,000（千円）
計画期間：	H27～H28
計画概要：	歩行空間整備 L=200m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（浮島小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩行空間整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、歩行者通行空間	4A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	2A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (一) 島田大井川線 (藤枝市大洲)

1 事業概要

全体事業費：	80,000 (千円)
計画期間：	H27～H28
計画概要：	歩道整備 L=70m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（大洲小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩道整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通死傷事故、歩行者通行空間	6A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			12A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (主)焼津森線 (森町谷中)

1 事業概要

全体事業費：	30,000 (千円)
計画期間：	H27～H28
計画概要：	歩道整備 L=500m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（宮園小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩道整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、歩行者通行空間	3A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (主) 掛川川根線 (掛川市上西郷)

1 事業概要

全体事業費：	6,000 (千円)
計画期間：	H27
計画概要：	歩道整備 L=60m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（西郷小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩道整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通死傷事故、歩行者通行空間	6A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	4A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			13A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： (一) 磐田掛川線（磐田市東貝塚）

1 事業概要

全体事業費：	40,000（千円）
計画期間：	H27～H29
計画概要：	歩道整備 L=300m

2 目的・必要性

当該箇所は、近隣の学校施設（磐田東部小）への通学路に指定されているが、歩道は整備されておらず、児童と交通車両等が輻輳し、危険な状況である。
そのため、歩道整備を実施し、歩行者等の安全確保を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通死傷事故、歩行者通行空間	5A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間、事業効果	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償、地元の熟度	3A
計			11A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）